



こんにちは、岡田よしひでです

2022年1月2・9日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.109

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20



日本共産党県委・県議団が知事・教育長交渉（県庁=12月24日）

皆様の願いを県政に届けて頑張ります。本年もご指導のほどよろしくお願い致します。

濱田知事に県民要求で申し入れ

日本共産党高知県委員会・県議団は12月24日、濱田省司知事、伊藤博明県教育長に来年度予算についての要望書を提出し、申し入れを行いました。春名なおあき党県委員長が要望内容をふまえて挨拶。知事、教育長から答弁を頂いたうえ、要請を加えました。

今回の要望内容は10項目に絞ったことから、まとまった答弁がありました。新型コロナウイルス感染症対策では、まずデルタ株かどうか調べ、例えばゲノム解析（3〜4日かかる）する二段階の対応をする。高齢者施設等で一人でも出ればフロア全体を検査する。特別警戒になれば中央公園で行ったような検査を実施する。自宅療養ゼロについては、301ベッド、ホテル385室まで拡充した。しかし一日100人陽性者が続くような事態になれば自宅療養ゼロは厳しい。子供をみるため自宅という人もいるのとこと。事業所支援については、国も売上3割減まで支援となった。2割減への支援を求められたが、県は財源を需要回復に回したい。経済状況を見極めて国に政策提言を行うとのことでした。

気候危機対策では、若い世代である学生の声も聞いているとのことでした。教育施策では教員の長時間過密労働の解消や教員増、採用試験の改善など引き続き求める必要があるとおもいました。体育館のエアコン設置は小学8千万円、中学1億2千万円と高額だとのことでしたが、市町村への支援を求めました。子育て支援については、妊産婦医療費助成制度の創設を求めました。やるなら

足並みを揃えてやりたい。市町村は、県が二分の一補助なら実施するが25、財政負担が心配が18（高知市除く）。財政負担がネック、市町村の声を聴き検討するとのことでした。

新規就農者支援については、国の支援金が一人最大一千万円に増額されませんが、ハード面で新たに自治体が二分の一負担となります。私は、これまでは全額国が負担しており、新制度で地域格差を生まないよう国に財政措置を求めるよう知事に要請しました。

高知県史編さんでは、県内漁船員等が被害を受けたビキニ水爆被災を調査・記録し後世に伝えるよう求めました。庁議メンバーへの女性登用については、ネクストバッタボックスに女性副部長が7人いるとの答弁でした。

おむすび通信 (109)

たたかひの

裾野ひろげて

変革へ

参院選で

躍進しよう

三平五郎岡田芳春

今年参議院選挙の年です。大型補正予算で軍事費は年間約6兆円、敵基地攻撃論や改憲の動きなど平和の問題が焦点に。

平和、新型コロナ対策、暮らしと営業応援に頑張ります。